

(1)

昭和36年12月15日

立教大学新聞

(昭和36年12月8日)

定価50円 第194号

37年度版 受験特集号 立教大学新聞

発行所
豊島区池袋3丁目
立教大学新聞学会
電話 983-0111 (代) ©
内線97番
発行人 野口 定男
毎月15日発行

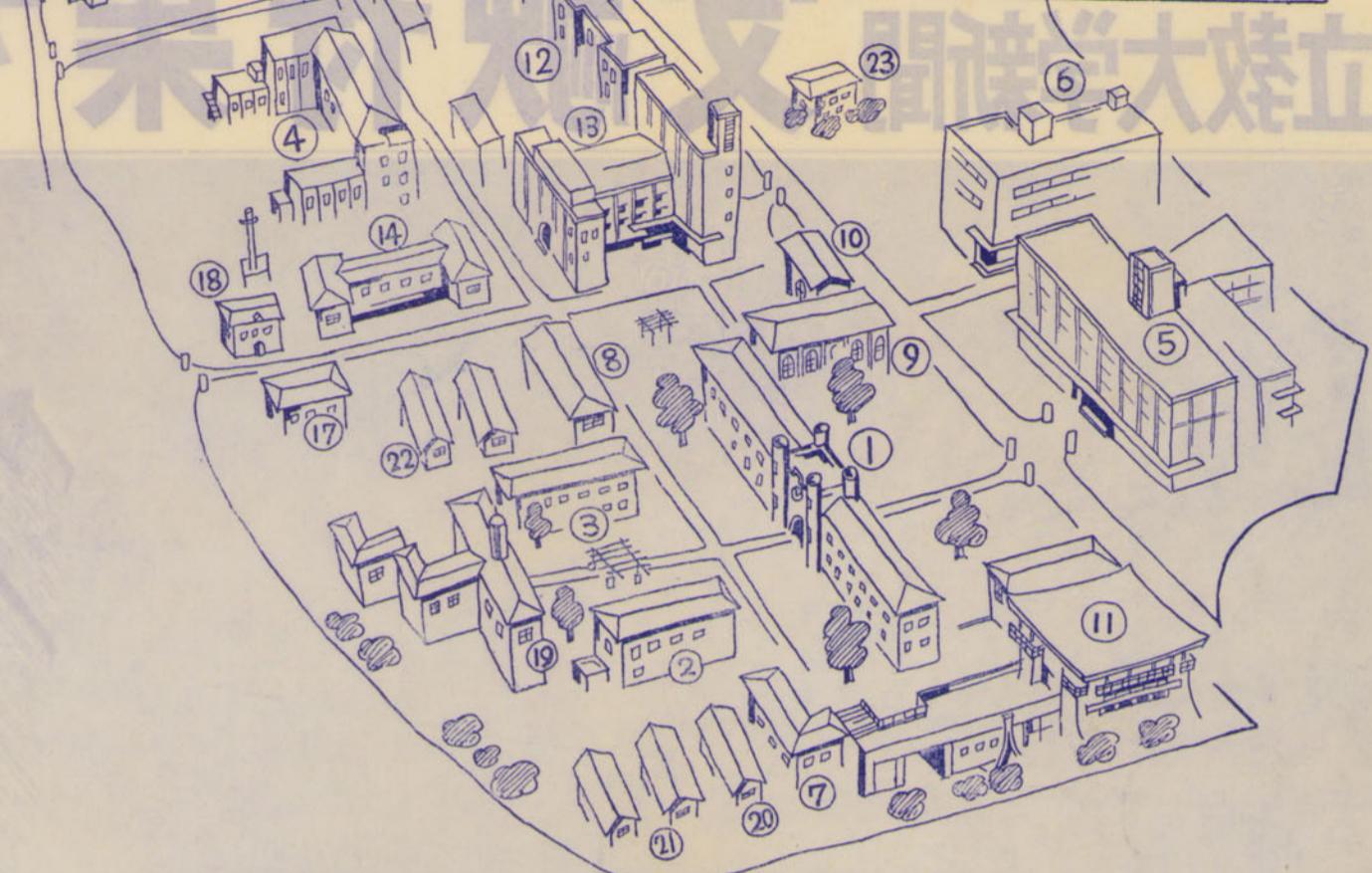
三六年度入試問題掲載



出版説明

- 1 本館時計台 (1~6)
- 2 2号館 (研究室)
- 3 3号館 (研究室)
- 4 4号館 (11~25)
- 5 5号館 (31~44.51~55)
- 6 6号館
- 7 7号館 (61~63)
- 8 8号館 (66)
- 9 チヤベル
- 10 チヤベル会館
- 11 図書館
- 12 12号館
- 13 タツカーホール
- 14 体育館
- 15 学生相談所
- 16 ミヅチエル館
- 17 立教学院診療所
- 18 心理学研究室
- 19 立教大学第一食堂
- 20 学生会本部
- 21 学生会部室
- 22 学生会部室
- 23 体育会館
- 24 学院グランド

【注】○内は教室番号末尾

立教大学鳥瞰図**教育制度**

一般教育課程における
教育制度は学年制と単
位制の併用といふ、私
立では、本学独自のシ
ステムよりなつてゐる
点は、その大学では、所
得される。一般教育は、民
主主義社会をつくるものとしての、
高い教養を身につけた、指導的市
民を育むことを目的としている
我々大学生は、人文科学、社会
科学、自然科学の三系列にわける
學問を、より広く、より高く、学
ぶ必要がある。一人ばかりの偏
った學問を排斥し、幅広い教養を身
につけるためには、有意義な制度
である。

本学では学年による授
業内容が、殆ど決つ
てしまつてゐる。定期
試験は、その学年で規定
された授業内容のうち、外
語、必修課目の単位が自動的に取
得されてしまう。一般教育は、民
主主義社会をつくるものとしての、
高い教養を身につけた、指導的市
民を育むことを目的としている
我々大学生は、人文科学、社会
科学、自然科学の三系列にわける
學問を、より広く、より高く、学
ぶ必要がある。一人ばかりの偏
った學問を排斥し、幅広い教養を身
につけるためには、有意義な制度
である。

学年制と単位制の併用

本学はこのような大学のマス・
プロ化を防ぎ、学生の学問的レ
ベルを高めさせ、学生生活を正しい
方向へ導くために、この制度を採
用している。

学生は学年同時に、七十人内外
のクラスに分けられる。固有の教
室と各昌吉定の座席が与えられ
る。組合授業以外の授業はほとんど
ある。各クラスに面接者として指
定する。

専門授業の場合と同様に、交りの場
を切り出すため、指導し、助言を
与える。一周回の指導の時間に
は、指導教授を共にして、教授と
学生、学生ととの間をより親
密なものとするため、いろいろな
努力がなされる。学生が、心をひ
かれて、深い、専門的な知識が總
合されてから学生は民主的社會を
作る指導的市民として、社會へ果
立していくのである。

三十七年度 生徒募集

試験期日 二月二十一日(水)

募集人員 男子第一学年約二二〇名

出願期日 二月一日(木)~二月十七日(土)正午まで

(日曜日を除く)

面接試験 二月二十五日(日)第一次

合格発表 二月八日(木)午前九時

立教中学校 電話番号二二一(代表)

第一次筆記検査
第一回定期試験
第二回定期試験
第三次筆記検査
算及びメンタルテスト

身体検査 二月六日(火)
審査科目・国・社・理・算

面接試験 二月八日(水)
申込受付 十一月一日~十二月二十日迄

新規一年生 申込受付 十一月一日~十二月二十日迄

所在地 東京都豊島区池袋三丁目

(国電・池袋西口 下車)

立教私観**「筋金入りの教育**

総長 松下正寿

日本において立教大学そく正にその学校の示すように、『自由の学府』である。我々はどんな思想でも歓迎するというのを滅ぼす事はない。この不吉な連鎖反対は何かわからないから何でも歓迎すると言はざらでなくてはならない。これでは、我々は『眞理は汝らに自由を得さず』といふ言葉を信じている。我々は立教大学はこの不動の信念によつて建てられたものであり、この不動の信念である。たものではなく、無闇に成立する。私は『筋金入り』といつたものではない。無闇に成立する。私は『筋

立教小学校

児童募集

新規一年生

試験期日

昭和三十七年一月九日

火曜日

申込受付

十一月一日~十二月二十日迄

迄

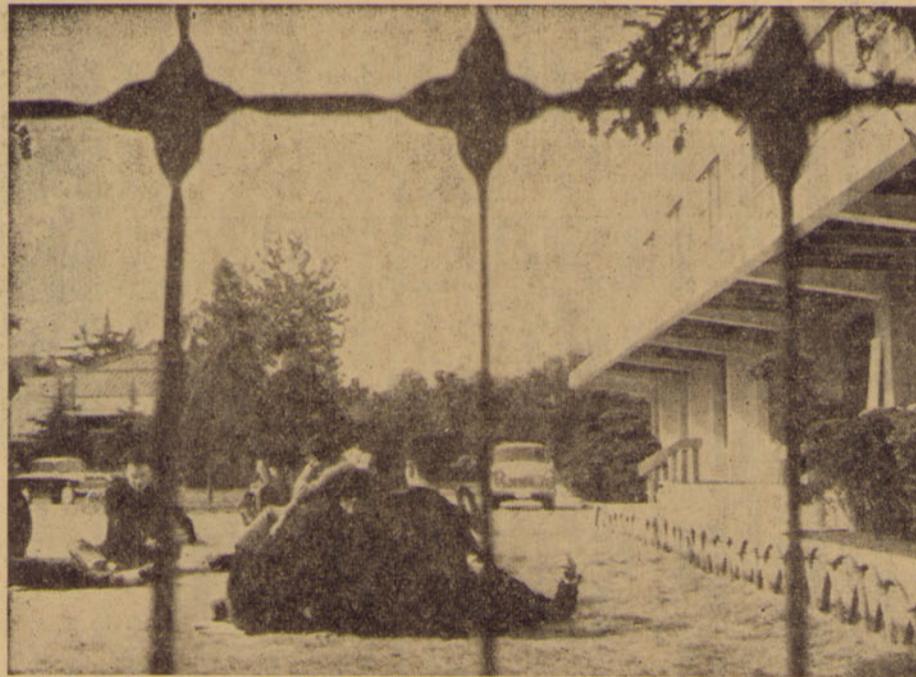
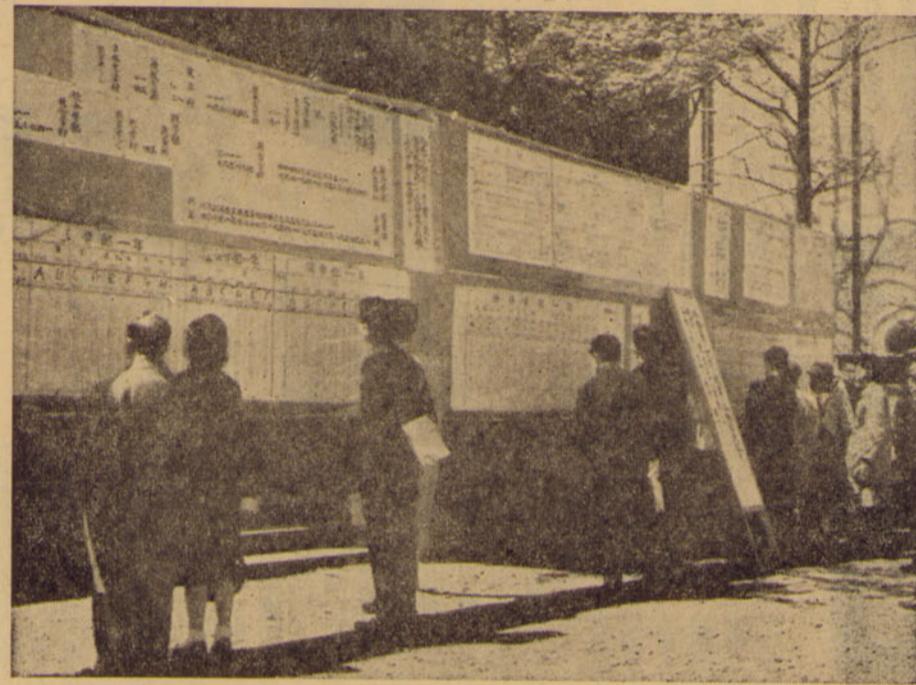
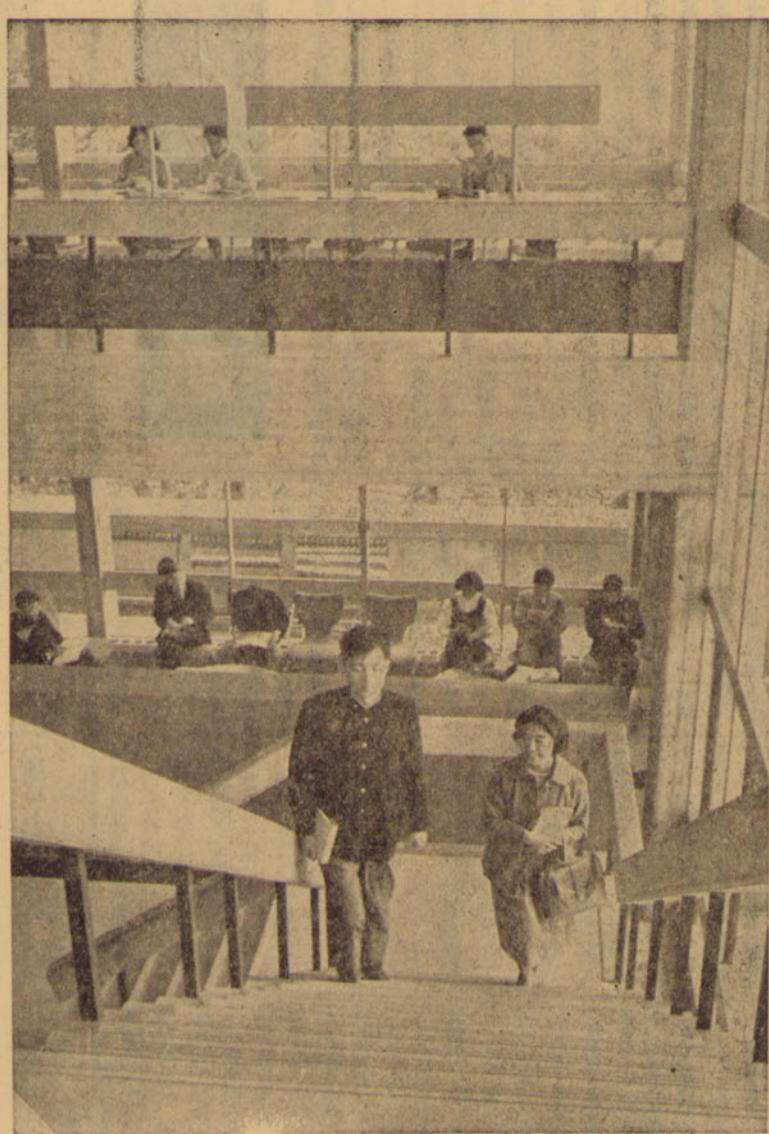
詳細は本校パンフレット及入試要項(送料共一五〇円)を御覧下さい。

所在地 東京都豊島区池袋三丁目

(国電・池袋西口 下車)

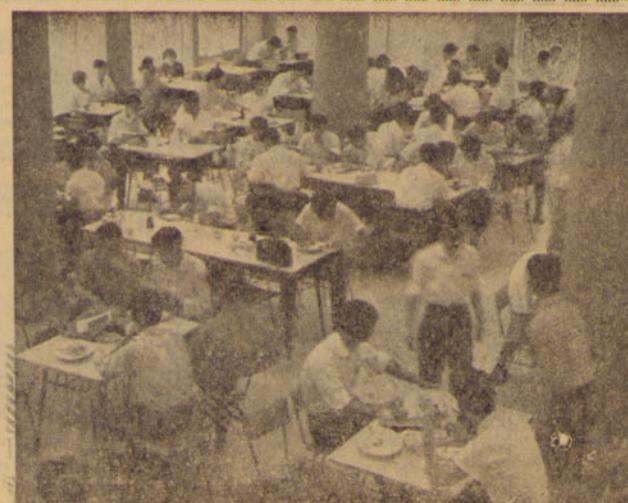


キヤンパス
由
カメラめぐり



〔左上から〕
 ●昨年新装なつた本学自慢の図書館。丹下健三氏の設計によるもので、居心地は満点。
 ●学生部窓口。学割からアルバイトまで、いろいろ面倒をみるところ。欠席した時間割も教えてくれる。
 ●第三学生食堂。日比谷公園にあるレストランの出店。第一に「較べて中は奇麗だが」。

●図書館の雑誌閲覧室。試験前になるとこよまで、勉強する学生で一杯になる。
 ●体育館前の入試の合格者発表所。貴方の番号がぜひありますように。
 ●校内の芝生。時々ここで講義まで行われる。室内よりずっと暖かい。
 ●講義風景。女人が多いから多分、文学部だろう。華やかである。



写 真 説 明

